

令和4年度進行管理・評価シート
大分市歴史的風致維持向上計画（令和元年6月12日認定）
（最終変更 令和4年6月13日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 大分市歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画との連携	2
2 大分市景観計画との連携	3
3 屋外広告物条例との連携	4
4 史跡大友氏遺跡保存管理計画書との連携	5
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 大分城址公園整備・活用事業	6
2 大友氏遺跡歴史公園整備事業	7
3 重要文化財 柞原八幡宮本殿他4棟保存修理事業	8
4 国指定史跡「大分元町石仏」保存管理事業	9
5 道路美装化・修景事業(都市計画道路中島錦町線)	10
6 無電柱化・修景事業(市道府内3号線、市道府内11号線)	11
7 鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業	12
8 大友氏館跡庭園整備見学ツアー	13
9 大友氏遺跡周辺史跡案内サイン設置	14
10 大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント	15
11 大友氏遺跡情報発信事業	16
12 大友プロモーション事業(宗麟公まつり実行委員会交付金)	17
13 地域資源活用人材育成事業	18
14 柞原八幡宮等祭礼継承基盤整備事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存と活用について	20
2 文化財の修理、周辺環境、防災に関する事業について	21
3 文化財における普及・啓発、民間団体への支援・連携に関する取組について	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 大分市の歴史まちづくりに関する報道	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する方針	24
□法定協議会におけるコメントシート(様式2)	25

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
大分市歴史的風致維持向上計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の実施体制は、都市計画課と文化財課を中心とした庁内協議会及び、歴史まちづくり法第11条に基づいた法定協議会である大分市歴史的風致維持向上協議会を設置しており、本計画の実施、変更等に関する連絡、協議を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○令和4年度 大分市歴史的風致維持向上協議会 令和5年3月上旬(書面開催) 令和4年度における本計画の進行管理について報告。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p style="text-align: center;">大分市歴史的風致維持向上計画の策定体制</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">庁内協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画課 ・観光課 ・土木管理課 ・道路建設課 ・まちなみ企画課 ・まちなみ整備課 ・公園緑地課 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">大分市歴史的風致維持向上協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・関係機関 大分県先哲史料館 大分商工会議所女性会 大分市観光協会 柞原八幡宮 ・国土交通省大分河川国道事務所 ・大分県 土木建築部 都市・まちづくり推進課長 教育庁文化課長 ・大分市 教育委員会事務局教育部長 都市計画部長 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">←</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">⇄</div> </div> <p style="text-align: center;">▲大分市歴史的風致維持向上計画の策定体制</p>			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	現在の状況
都市計画との連携	令和4年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 重点区域には、用途地域の運用による良好な景観形成に加えて、建築物の用途の制限や、歴史を感じさせるまちづくりを推進するために指定した、地区計画や景観地区が含まれている。本市では、これらの運用により適切な土地利用の誘導を図っており、今後も引き続き都市計画を継続しながら良好な景観形成を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

用途地域や地区計画、景観地区に基づき、建築物や工作物等における用途や行為に関して、適正な制限および土地利用等を図り、良好な景観形成に努めた。

- 景観地区内における建築行為の認定申請
令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日):5件
令和4年度(令和4年4月1日～令和4年12月31日):6件
- 地区計画内における建築行為の届出
令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日):25件
令和4年度(令和4年4月1日～令和4年12月31日):20件

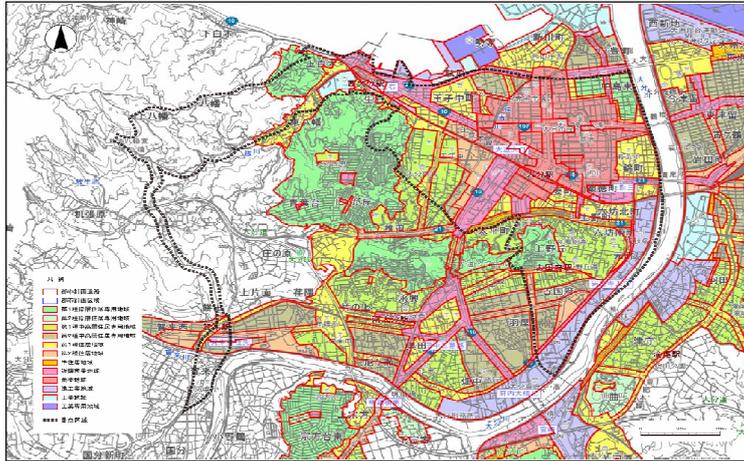
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

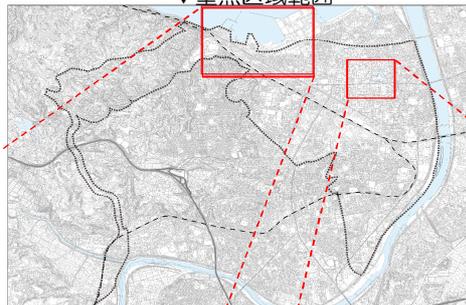
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

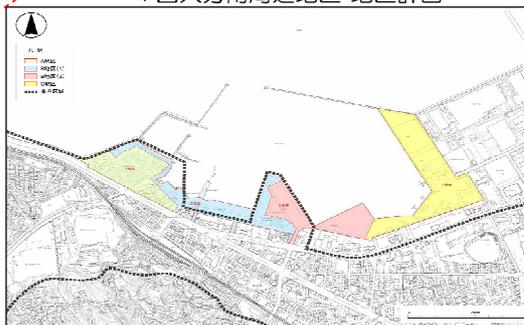
▼都市計画総括図と重点区域の範囲



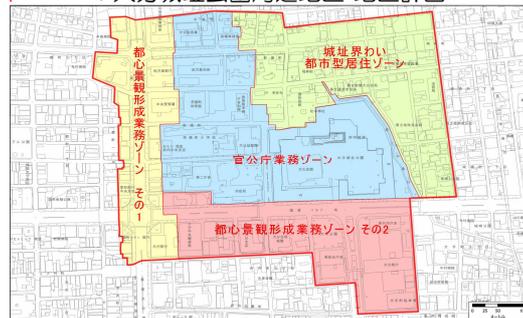
▼重点区域範囲



▼西大分南周辺地区 地区計画



▼大分城址公園周辺地区 地区計画



評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

大分市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	--	---

計画に記載している内容
 「大分市景観計画」より、市全域を「景観計画区域」に指定しており、この区域内において一定規模以上の建築物の建築や土地の形質の変更など景観の保全及び形成に大きな影響を及ぼす可能性のある行為に対して、地域の景観に調和することを趣旨とし、届出・勧告により、広域的に、緩やかで、統一的な制限を行うことで、市域全域の景観コントロールを行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大分市景観条例に基づき、規制対象の行為は届出を提出する事としている。
 ○景観計画区域内行為
 令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日):届出49件、通知6件
 令和4年度(令和4年4月1日～令和4年12月31日時点):届出42件、通知15件

進捗状況 ※計画年次との対応 道路美装化・修景事業(都市計画道路中島錦町線)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

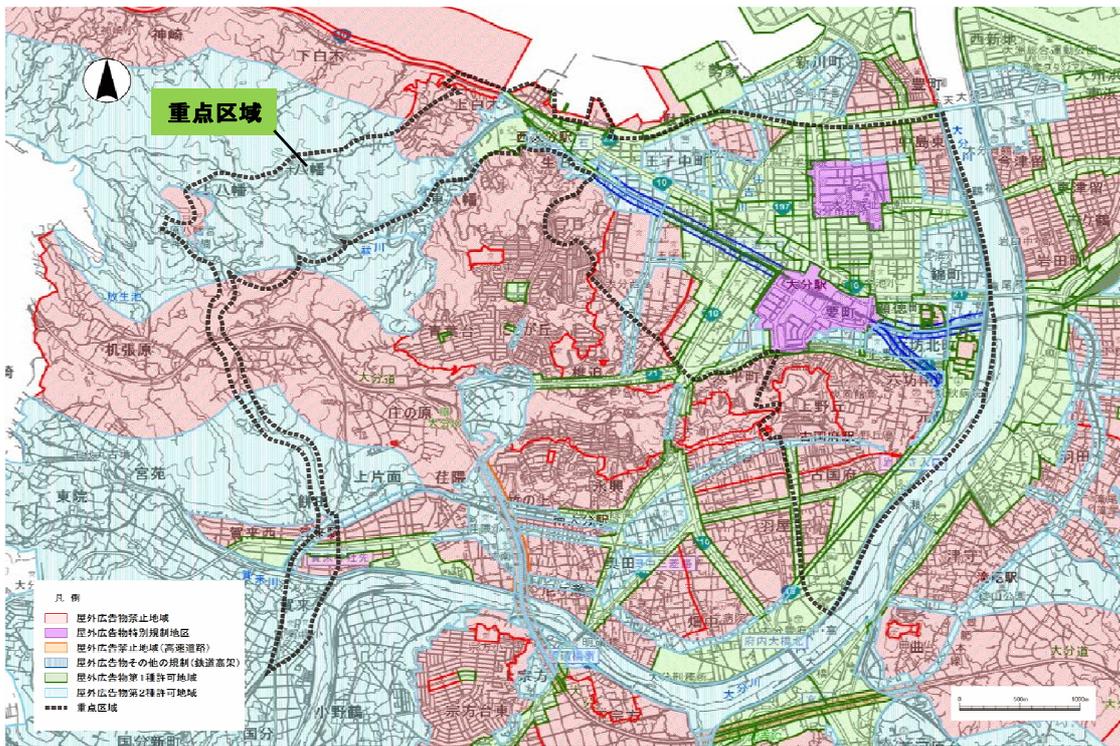
▼大分市景観条例に基づく届出対象行為

建築物の建設等	建築物の新築、増築、改築または移転、外観を変更することとなる修繕または模様替えもしくは色彩の変更	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域における建築行為で高さ20m以上または延床面積3,000平方メートル 市街化区域以外における建築行為で高さ10m以上または延床面積500平方メートル 「沿道景観美化地区」で、高さが13m以上または建築面積500平方メートル以上
工作物(建造物)	工作物の建設、築造または外観を変更することとなる形状もしくは色彩の変更 <ul style="list-style-type: none"> 塔状工作物(煙突、鉄柱、木柱、電柱、物見塔、記念塔、高架水槽など) 遊戯施設(コースター、観覧車など) コンクリートプラントや石油・ガス・穀物・飼料を貯蔵する施設、ごみ処理施設など 	<ul style="list-style-type: none"> 塔上の工作物で、高さ15m(沿道景観美観地区については13m)以上 遊戯施設などで、高さ10m以上または築造面積500平方メートル以上 製造施設・貯蔵施設・処理施設などで、高さ10m以上または築造面積が500平方メートル以上 ※「色彩の変更」には、既存と同色を施す場合も含む
工作物(構築物)	工作物の建設、築造または外観を変更することとなる形状もしくは色彩の変更 <ul style="list-style-type: none"> ダム、砂防ダム、水門、防波堤、護岸、棧橋、落石防護柵、遮音壁など 	<ul style="list-style-type: none"> 塔上の工作物で、高さ15m(沿道景観美観地区については13m)以上 遊戯施設などで、高さ10m以上または築造面積500平方メートル以上 製造施設・貯蔵施設・処理施設などで、高さ10m以上または築造面積が500平方メートル以上 ※「色彩の変更」には、既存と同色を施す場合も含む
工作物(再生可能エネルギー)	工作物の建設、築造または外観を変更することとなる形状もしくは色彩の変更 <ul style="list-style-type: none"> 風力発電施設 太陽光発電施設 	<ul style="list-style-type: none"> 風力発電施設で高さ10m以上 太陽光発電施設で高低差10m以上、またはパネル面積500平方メートル以上
特定照明	夜間において公衆の観覧に供するため、一定の期間継続して建築物、その他の工作物、物件の外観について行う照明	<ul style="list-style-type: none"> 届出の対象規模となる建築物、工作物に対し行われる特定照明の新設・移設・改設・色彩等の照明方式の変更
屋外における物品の堆積	屋外における土石、廃棄物、資材、再生资源やその他の物品の堆積	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内における堆積規模の合計が500平方メートル、または堆積の高さ4m以上 「沿道景観美化地区」で、堆積規模が100平方メートル以上、または堆積の高さ2m以上
開発行為	自然景観に与える影響の大きいなどの大規模な開発行為 <ul style="list-style-type: none"> 住宅団地開発や商業施設開発など 	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域内：届出対象外 市街化調整区域内：1,000平方メートル以上 非線引き都市計画区域内：3,000平方メートル以上 都市計画区域外：3,000平方メートル以上
土石類の採取	傾斜地や地肌が露出することとなるなどの景観に与える影響の大きい行為 <ul style="list-style-type: none"> 土や砂、岩石等の採取 	<ul style="list-style-type: none"> 採取面積3,000平方メートル以上または5m以上の法面を生じるもの
その他土地の形質の変更	地肌が露出することとなるなどの景観に与える影響の大きい行為 <ul style="list-style-type: none"> 道路整備に伴うものやグラウンド、駐車場等 	<ul style="list-style-type: none"> 採取面積3,000平方メートル以上または5m以上の法面を生じるもの
木竹の伐採	地肌が露出することとなるなどの景観に与える影響の大きい行為	<ul style="list-style-type: none"> 皆伐のみを対象とし、全ての規模の行為
街路樹の管理	街路樹整備重点道路の街路樹のせん定、植樹、植替え、撤去	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理者による通知

**評価軸②-3
重点区域における良好な景観を形成する施策**

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
屋外広告物条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	「屋外広告法」に基づき、良好な景観の形成や風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的として「大分市屋外広告物条例」を制定し、市内のそれぞれの地域の特性に配慮しながら、安全で美しいまちづくりを目指している。重点区域内では特定地域(特別規制地区)、禁止地域、許可地域が混在しているが、区域内で一体的な景観形成が必要なエリアについては、特定地域の指定など「大分市屋外広告物条例」と連携し、重点区域内の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大分市屋外広告物条例に基づき屋外広告物の設置については、地域の特性を配慮しながらエリア区分による、制限を行っている。 また、屋外広告物設置の際には許可申請書を提出する事としており、景観形成に影響が出ないか確認を行った。 ○屋外広告物許可申請 令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日):新規113件、更新648件、変更24件 令和4年度(令和4年4月1日～令和4年12月31日時点):新規122件、更新498件、変更14件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



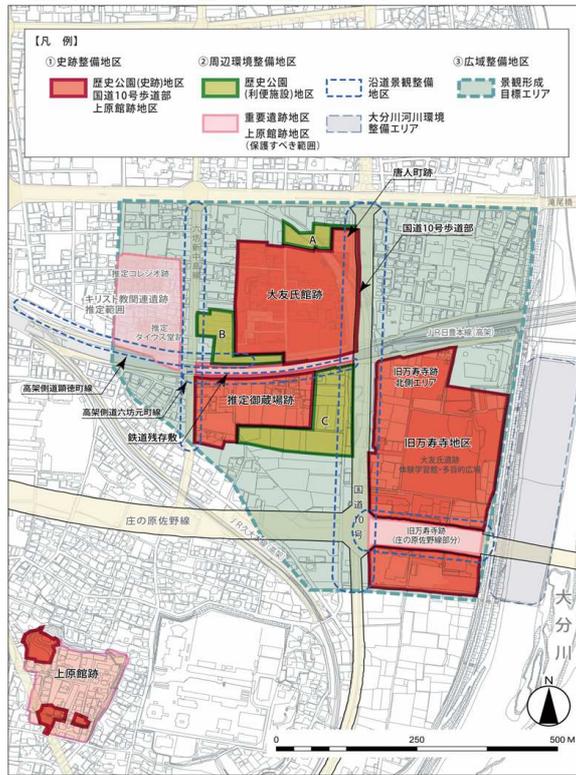
▲屋外広告物条例指定区域と重点区域の範囲

評価軸②-4
重点区域における良好な景観を形成する施策

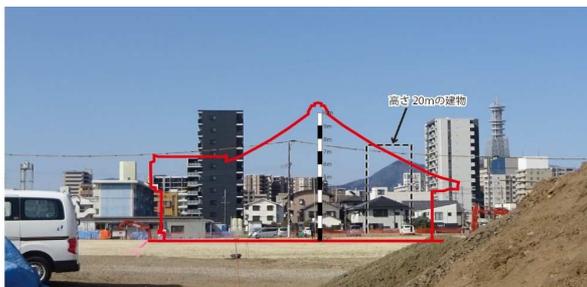
		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
史跡大友氏遺跡保存管理計画書との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	史跡大友氏遺跡の適切な保全・活用を行い、その価値を次世代へ継承することを目的とし、保存管理を実行するための長期的な指針として、「史跡大友氏遺跡保存管理計画書」を平成26年(2014)に策定した。「保存管理計画」において「保存管理の基本方針」として「史跡地内外の地形地割・歴史的景観を踏まえた景観保存・形成を推進する。」を掲げており。歴史的風致と一体的なまちなみづくりを行う。また、「整備基本構想」において周辺沿道や周辺地区を史跡と調和した景観形成を図るエリアとしていることから、これに合致したまちづくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大友氏館跡歴史公園整備に向けて、公園整備に影響をあたえる道路撤去工事を実施した。また、公園周辺における景観について、大友氏館跡からの眺望調査や景観形成方針を検討するためのワークショップを令和5年2月5日に実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

▼整備ゾーニング図(全域重点区域内)



▲ワークショップ(まち歩きの様子)



▲景観シュミレーション
(大友氏館跡からの眺望)



▲ワークショップ(室内の様子)
(開催日: 令和5年2月5日 参加者: 13名)

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
大分城址公園整備・活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成29年度～平成30年度)、市単独費都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和5年度)

計画に記載している内容 県指定・市指定史跡府内城跡である大分城址公園において、「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき修景整備を行う。整備にあたっては景観に配慮した質の高い都市空間を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

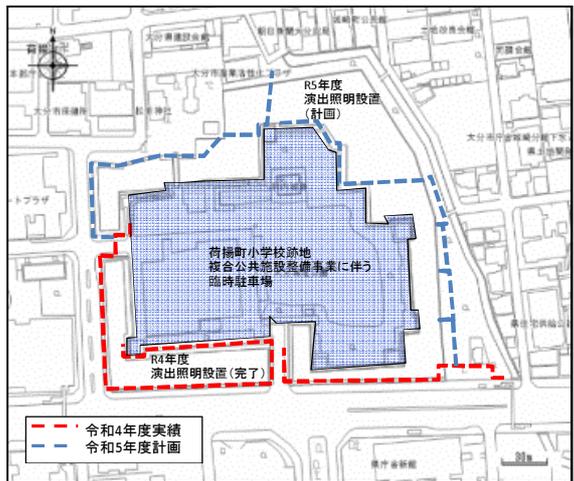
○石垣や城壁の演出照明設置
(令和4年度) 実績24基/当初計画24基
(令和5年度) 計画29基

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

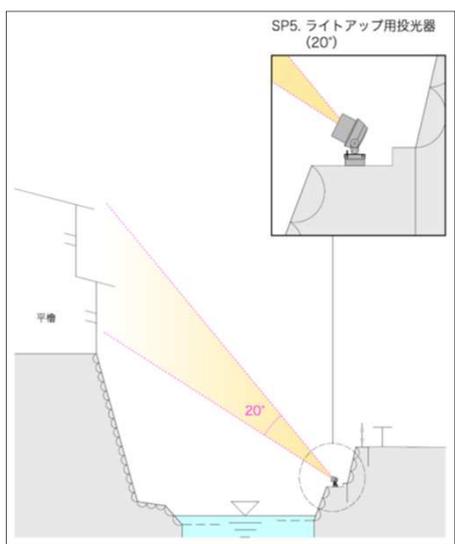
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和2年5月にPCR用検体採取場を公園内に設置し、関係者以外の公園内への立入を禁止する措置を講じた。また、令和4年5月からは、荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業に伴う臨時駐車場として利用していることから、整備に先立って行う発掘調査のスケジュールに遅れをきたしているため、今後のスケジュールについて検討したい。

状況を示す写真や資料等



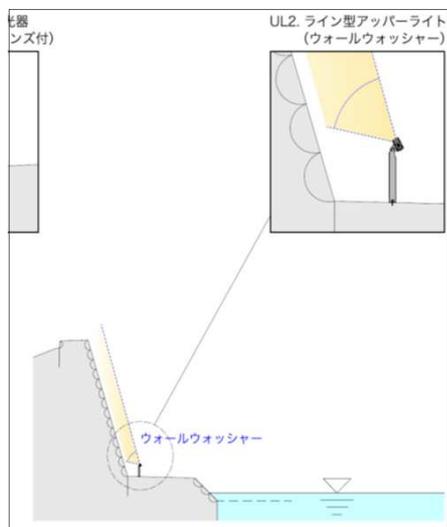
▲位置図



▲断面図(1)



▲整備イメージ図



▲断面図(2)

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
大友氏遺跡歴史公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業、大分県文化財保存事業費補助金、市単独費		
計画に記載している内容	歴史文化観光拠点に位置付けられている大友氏遺跡歴史公園の整備を進めるため、大友氏館跡庭園の復元整備、建物や塀などの立体復元整備、遺構の地上表示、学習交流施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○大友氏遺跡歴史公園基盤整備に係る広場A整備(南側)工事:面積約3100㎡ ○大友氏遺跡確認調査(令和4年度):調査面積1196㎡ ○大友氏館跡建造物等復元検討委員会:4回			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、建物や塀などの立体復元整備を進めていくとともに、歴史公園内の基盤の整備を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
▼広場A整備工事		▼大友氏遺跡現場見学会	
			
広場整備工事完了状況(北西より)		開催状況 (開催日:令和4年10月29、30日 参加者:234名)	
▼発掘調査		▼発掘調査	
			
調査風景(南より)		調査状況(廃棄土坑の状況)	
▼建造物等復元検討委員会			
			
建造物等復元検討委員会の状況 開催日:令和4年6月、10月、1月、3月(予定) 委員:5名			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

重要文化財 柞原八幡宮本殿他4棟保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成30年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業、大分県文化財保存事業費補助金、市単独費

計画に記載している内容 重要文化財に指定された本殿他4棟の保存修理などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化庁補助事業にて以下の保存修理を予定している。

重要文化財(建造物)

- ・柞原八幡宮本殿 ・東宝殿(ひがしほうでん) ・西宝殿(にしほうでん) ・附(つかけたり)宝蔵(解体修理)
- ・附(つかけたり)八王子社(部分修理)

○過年度実績: 東宝殿解体、西宝殿解体、仮設物設置、仮設屋根等設置

○令和4年度実績

- ・本殿: 耐震補強、建直し、塗装、彩色
- ・附 宝蔵: 屋根瓦葺替、土壁塗り、建具工事
- ・附 八王子社: 屋根葺替、塗装、彩色

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 参拝者に対する、安全面には十分配慮した施工方法にて実施中。
 □計画どおり進捗していない 耐震診断結果に基づいた耐震補強対策を実施中。
 残存部分の調査に基づいた彩色の復元を進めている。
 状況を示す写真や資料等

見学会、現場公開	人数	回数
令和2年度	約25人	1
令和3年度	0人	0
令和4年度	94人	2



▲柞原八幡宮 本殿 (着工前)



▲柞原八幡宮 本殿 (建直し、軸組完了)



▲柞原八幡宮 附(つかけたり)・宝蔵 (着工前)



▲柞原八幡宮 附(つかけたり)・宝蔵 (土壁塗り)

実施済					計画		
平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
仮設物設置	東西宝殿解体	本殿等解体	本殿・宝蔵建築	本殿等建築	本殿等建築	東西本殿建築	東西本殿建築

▲スケジュール

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

国指定史跡「大分元町石仏」保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------	---

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 国の指定史跡大分元町石仏は、平安時代後期に造られた磨崖仏(まがいぶつ)である。現在、塩害などにより風化していることから、効果的な脱塩方法を検討し、石仏の風化を早期に抑止して安定化を図りながら整備状況の公開と情報発信を行う。

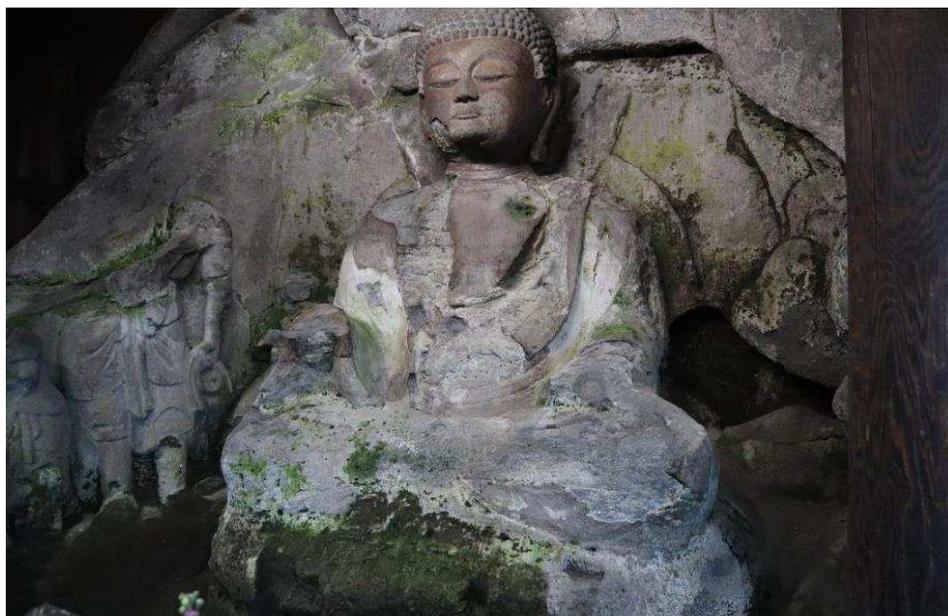
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和2年度は、和紙貼り付けにより塩類析出が抑制していること確認できた。
- 令和3年度は経過観察を主体として、環境観測と目視観察を実施した。
また、後背地の植生管理のため、樹木剪定を2月末に実施した。
- 令和4年度も引き続き、経過観察を主体として、環境観測と目視観察を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



▲状況写真

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

道路美装化・修景事業(都市計画道路中島錦町線)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------------	---

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成29年度～令和元年度)

計画に記載している内容 大友氏館正門の前を通る歴史的な道と重なる位置にある当該道路について、歩道の美装化、樹木の配置など修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成30年度～令和元年度:歩道修景整備(A=5296㎡)終了
- 令和2年度:植栽工事(A=673㎡、高木48本)終了
- 令和2年度:ポケットパーク修景整備工事(A=923㎡)終了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 完成

状況を示す写真や資料等

▼着工前



▼完成



評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
無電柱化・修景事業(市道府内3号線・市道府内11号線)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和5年度

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)(令和元年度～令和4年度)
都市構造再編集中支援事業(令和2年度～令和5年度)、無電柱化推進計画事業(令和3年度～令和4年度)
市単独費

計画に記載している内容 歴史的風致の概ね中心に位置しており、点在する歴史的建造物を結ぶ市道府内3号線及び市道府内11号線の無電柱化及び修景整備、照明灯設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○無電柱事業(計画延長 L=530m)
【令和3年度までの実績】L=470m
【令和4年度】実績 L=60m/計画 L=60m 期間累計 L=530m/計画 L=530m

○修景事業(計画延長 L=530m)
【令和3年度までの実績】L=140m
【令和4年度】実績 L=180m/計画 L=180m 期間累計 L=320m/計画 L=530m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
中心市街の工事であることから、沿線店舗等との調整に時間がかかり、事業進捗に遅れが発生していることから、計画調整を行い先行できる関連事業を実施している。

状況を示す写真や資料等



▲着工前



▲着工後



▲完成イメージ

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
鉄道残存敷における歴史的風致の回遊ルート整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和6年度		
支援事業名	社会的資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和6年度) 市単独費		
計画に記載している内容	大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、都心南北軸と東西軸を中心とした中心市街地の回遊性を目的に、周辺施設と連携し整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○日豊本線東側(L=800m) 令和元年度に整備が完了し、供用開始済み。大友氏遺跡歴史公園までの新たなアクセスルートとして整備されたことにより、当該施設へのアクセスのみならず、中心市街地の回遊性向上に寄与した。 (2020年アジア都市景観賞、2021年度グッドデザイン賞を受賞)</p> <p>○久大本線(L=300m) 令和2年度に整備工事を実施し、完了した。</p> <p>○日豊本線西側(L=1,200m) 基本設計及び詳細設計が完了し、令和3年度に整備工事に着手。令和6年度の完成に向けて、整備を進めている。令和4年度は、A区間およびB区間の整備を行った。</p>			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	鉄道残存敷は県所有の土地であり、本事業にあたって県より譲渡を受け、本市が整備を行っている。大分県と連携した事業であるため、今後も引き続き調整を行いながら推進する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
▼日東本線東側 (完成)		▼日豊本線西側 (着工後)	
			
		(B区間)	
▼日豊本線西側 (イメージ鳥瞰パース)		▼日豊本線西側 (イメージアイレベルパース)	
			
▼日東本線西側 (スケジュール)			
			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
大友氏館跡庭園整備見学ツアー	令和4年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)、市単独費

計画に記載している内容 大友氏遺跡歴史公園内(大友氏館跡)に設置している「南蛮^{ブンゴ}BVNGO交流館」を拠点として、整備中である大友氏館跡庭園の見学や大友氏館内のガイドイベントを開催する。

○令和元年度実績
 ・大友氏遺跡フェスタ2019実施(参加者571人)
 ・南蛮BVNGO交流館6・8・12月イベント(延べ463人)
 今後も「大友氏館跡」の整備状況の見学会を通して、市民や来訪者の方々に大友氏の歴史に関して周知を行い、歴史の認識向上を図りたい。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 完了
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



▲大友氏遺跡フェスタ ポスター



▲大友氏遺跡フェスタ 状況写真①



▲大友氏遺跡フェスタ 状況写真②



▲大友氏遺跡フェスタ 状況写真③

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
大友氏遺跡周辺史跡案内サイン設置	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)
都市構造再編集中支援事業(令和2年度)

計画に記載している内容 大友氏遺跡歴史公園周辺を中心に、周辺道路沿い及び大友氏遺跡に関連する地点に案内板や道路案内サインを設置する。また、大友氏遺跡およびその周辺に、大型の遺跡説明サインを設け、大友氏遺跡及びその周辺の歴史文化資源に関する情報を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成30年度:道路案内サイン 1基設置
 ○令和元年度:道路案内サイン 4基設置 大友氏遺跡説明サイン 2基設置
 ○令和2年度:大友氏遺跡説明サイン 5基設置
 サインの作成にあたっては、周囲の景観や大友氏のイメージに配慮しながら分かりやすいデザインで作成し、歴史文化資源の情報発信に寄与することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 完成
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



▲大友氏遺跡説明サイン(大友氏遺跡・上原館跡)



▲サイン拡大



▲大友氏遺跡説明サイン(大友氏遺跡・旧万寿寺地区)



▲サイン拡大



▲道路案内サイン(大型・単柱)

▼サイン一覧

設置年度	サインの種類	所在地	備考
平成30年度	道路案内サイン	大分市顕徳町3丁目	国道
令和元年度	道路案内サイン(大型・単柱)	大分市顕徳町3丁目	市道
	道路案内サイン(共架)	大分市錦町3丁目	国道
	道路案内サイン(共架)	大分市六坊北町	県道
	道路案内サイン(共架)	大分市錦町2丁目	市道
	大友氏遺跡説明サイン	大分市大字大分	大友氏遺跡・旧万寿寺地区内
令和2年度	大友氏遺跡説明サイン	大分市上野丘	大友氏遺跡・上原館跡内
	大友氏遺跡説明サイン	大分市顕徳町3丁目	大友氏遺跡・大友氏館跡
	大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市錦町2丁目	称名寺跡・唐人町跡
	大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市錦町2丁目	福荷町跡
	大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市錦町1丁目	小笠原町跡・南小路町跡
大友氏遺跡周辺遺跡説明サイン	大分市長浜町2丁目	今在家町跡・福荷町跡	

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
大友氏遺跡歴史公園庭園公開イベント		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和7年度

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業(令和2年度～令和7年度)、市単独費

計画に記載している内容
 整備を進めている大友氏遺跡の庭園が完成する時期にあわせて、仮設の舞台などを設置し、庭園完成のイベントを実施する。
 庭園完成時(令和2年度)のみイベントを予定していたが、完成後も周知を図るために事業期間を延長し、令和5年までイベントを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和2年度:大友氏館跡イベント「宗麟 館で待つ!」(R2.11.13・14)を実施した。(2日間の来場者1,177人)
 ○令和3年度:第20回大友氏遺跡フェスタ(R3.10.30・31)を実施した。(2日間の来場者2,571人)
 ○令和4年度:第21回大友氏遺跡フェスタ(R4.10.29・30)を実施した。(2日間の来場者5,036人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 地元への周知及び協力依頼を行い実施した。今後も大友氏館跡庭園を活用したイベントを実施し、大友氏館跡や大友氏遺跡の歴史文化の周知に努めたい。

状況を示す写真や資料等



▲イベントチラシ



▲ワークショップ



▲パネル展示



◀ 現地説明会



▲野点茶会



◀ 火縄銃の発砲演舞



▲ボランティアガイドによる庭園ガイド



▲庭園ライトアップ(10/28、29)

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
大友氏遺跡情報発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 大友氏遺跡は、平成13(2001)年度に国指定の史跡となり、現在も発掘調査が進められている。戦国時代に府内を国際貿易都市として発展させた大友宗麟公を本市の新たな「顔」としてPRし、遺跡の価値や魅力を市民に広く知っていただくため、歴史講座や体験イベント、パンフレットの発行など、様々な情報発信事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大友氏遺跡(大友氏館跡)に設置する大友氏と大友氏遺跡に関する仮ガイダンス施設「南蛮BVNGO交流館」を中心に各種イベントや情報発信を行っている。来館者目標を年12,000人に設定し、令和3年度は14,563人、令和4年度は1月末時点で15,471人と目標を達成している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後も南蛮BVNGO交流館でのイベントや講座により、大友宗麟公や大友氏遺跡の魅力についてPRし、住民の歴史文化に対する関心の向上に努めたい。

状況を示す写真や資料等

▼南蛮BVNGO交流館来館者数

	大人	子ども	計(人)
令和元年度	9,831	2,281	12,112
令和2年度	14,314	2,733	17,047
令和3年度	12,089	2,474	14,563
令和4年度(1月末現在)	10,996	4,475	15,471



▲交流館のすみっこ展の展示

▼来館者パスポート

令和4年度

月日	イベント名
4月16日	大友氏遺跡国指定20周年記念シンポジウム
4月28～5月10日	甲冑展示
6月1日～	交流館のすみっこ展(月替わりの展示)
6月4日～	カプセルトイレの設置(文化財課協力)
6月19日	大友杏葉武将隊(豊後大友宗麟鉄砲隊)によるおもてなし及び発砲演舞
8月1日～	交流館のすみっこ展に伴う来館パスポートの配布
8月27日	豊後大友宗麟鉄砲隊による火縄銃の発砲演舞、ゴム鉄砲づくり体験
8月27日	「大分きゃんばす」内でのFUNA ジュニアガイドによるバスガイド
10月29日、30日	第21回大友氏遺跡フェスタ&第9回宗麟公まつり
12月18日	鉄砲おさめ「納射会」
1月5日～1月31日	新春大友みくじ
2月12日	大友館のおもてなし「大おもて会」



▼ジュニアガイドによるバスガイド



▼新春大友みくじ

▼大友氏遺跡フェスタ



▼庭園ライトアップ



新春大友みくじ

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

大友プロモーション事業(宗麟公まつり実行委員会交付金)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成30年度～令和10年度

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 大友氏遺跡と関連のある「大友宗麟公」を大分市民の誇りとして確立するとともに、本市の新たな「顔」として全国に情報発信していくイベントを開催するための実行委員会の設立及び交付金の支出や宗麟公まつりの企画・運営などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成30年度参加者数:44,280人
- 令和元年度参加者数:58,651人
- 令和2年度:国内外における新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントを中止
- 令和3年度参加者数:2,571人 ※令和3年度より会場を大分駅前府内中央口広場から大友氏館跡に変更
- 令和4年度参加者数:5,036人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

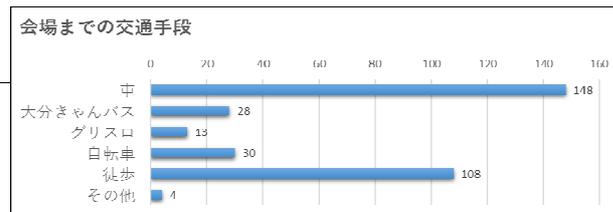
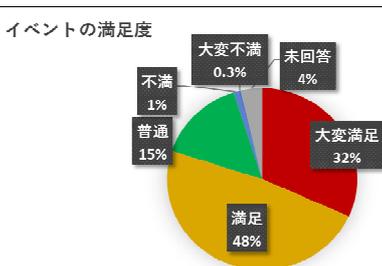
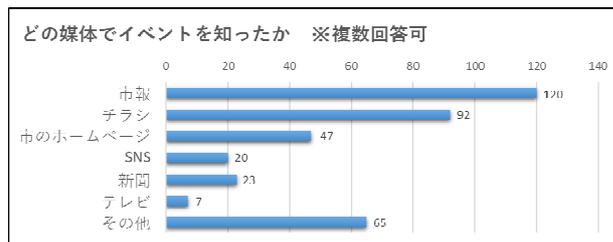
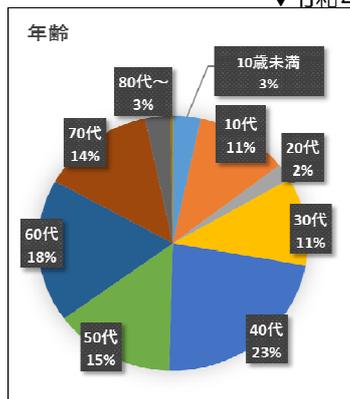
新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、十分な感染対策を講じながら、開催に向けて内容を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

▼令和4年度 「宗麟公まつり」状況写真(大友氏遺跡)



▼令和4年度 「宗麟公まつり」会場アンケート結果



評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
地域資源活用人材育成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和元年度)、市単独費

計画に記載している内容 歴史を活かしたまちづくりを地域に定着させるため、地域資源の魅力を生かす人材となる遺跡案内ガイドを募集・養成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度にて事業完了。
 大友氏遺跡にて、遺跡案内ガイド育成した。
 ○平成30年度は10名を遺跡案内ガイドとして育成した後に登録した。
 ○令和元年度は7名を遺跡案内ガイドとして育成した後に登録した。
 これからも大友氏遺跡や南蛮BVNGO交流館にてガイドや研修を行い、人材の育成及び地域資源の魅力発信に努める。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない 完了

状況を示す写真や資料等



▲大友氏遺跡、交流館のガイド状況



▲研修状況

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
柞原八幡宮等祭礼継承基盤整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独費(大分市文化財保存事業、おおいた地域伝統文化応援事業)

計画に記載している内容 柞原八幡宮に関わる「浜の市」や「賀来の市」などの諸祭礼の構成要素である「供奉太鼓」をはじめとする無形民俗文化財の保存・継承を図るため、それらの保存団体や活動団体などが用具の整備を実施する場合に支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

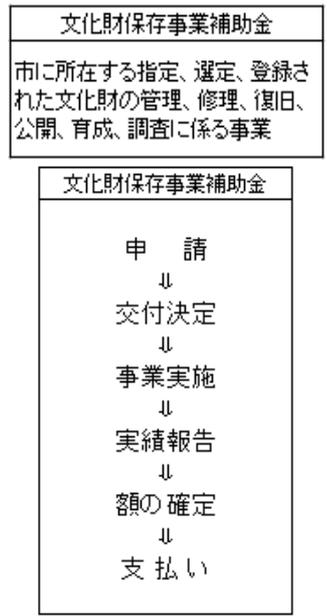
大分市文化財保存事業: 主に指定文化財の整備を図る事業の支援(令和10年度までに3件の見込み)
 おおいた地域伝統文化応援事業: 「浜の市」「賀来の市」に係る保存団体の活動支援(令和10年度までに4件の見込み)
 ○令和2年度 0件
 ○令和3年度 0件
 ○令和4年度 0件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 新型コロナウイルス感染拡大後、その影響で保存団体の活動が低調となり、ここ3年間は事業の希望が無かった。今後は「コロナ後」に向けて、保存団体の活動状況の把握を進め、事業についての情報提供を十分に行い、計画内容の実施に努めたい。

状況を示す写真や資料等

▼フロー (大分市文化財保存事業補助金)



▼フロー (おおいた地域伝統文化応援事業助成金)



▼保存団体、支援件数

支援団体	R1 件数	R2 件数	R3 件数	R4 件数
市指定「柞原太鼓」保存会	0	0	0	0
「浜の市」主催団体	0	0	0	0
「浜の市」活動団体	1	0	0	0
「賀来の市」主催団体	0	0	0	0
「賀来の市」活動団体	0	0	0	0
その他活動団体	0	0	0	0

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の保存と活用について	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

指定文化財などは、文化財保護法、大分県文化財保護条例、大分市文化財保護条例の他、関連法令に基づき、これまで保護のための措置が講じられており、今後も引き続き保護を図る。
未指定の文化財については、文化財の指定・登録が進むよう、大学などの研究機関と連携し、歴史的建造物などに関する調査の推進や成果の共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、文化財指定・登録制度を活用し、計画的に修理や整備、また防災対策などを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度の指定文化財件数については、国指定文化財が27件、国登録有形文化財が37件、県指定文化財が76件、市指定の文化財が82件の合計222件であり、令和3年度から4件増加した。今後も法令等に基づいた適正な文化財の追加および保護を続ける。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

▼国指定文化財の分布



▼市指定文化財の分布



評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
文化財の修理、周辺環境、防災に関する事業について	令和4年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の修理は日常的な維持管理における予防措置や、毀損の早期把握が重要であるため、所有者などによる適切な維持管理と日常的な点検により損傷の早期発見に努めるとともに、所有者などの意思向上のための適切な助言を実施する。
 文化財周辺の環境や景観を阻害する要素が見られる場合には、所有者や管理者と協議のうえで改善を講じる。
 文化財防火デー(1月26日)には最寄りの消防署や地元消防団、自主防災組織と連携し、文化財施設での消火訓練などを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年1月26日に国指定史跡亀塚古墳にて、東消防署をはじめ地元の里中地区の住民や消防団と連携し、防災訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

▼防災訓練の実施状況



評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財における普及・啓発、民間団体への支援・連携に関する取組について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財マップの作成や文化財情報のホームページ掲載、市内全戸に年に1回、回覧する「文化財だより」の発行など、様々な情報媒体を活用する。
 また、学校教育では、小・中学校を対象に大友氏に関する副読本を活用した授業の開催や地区公民館などで行う生涯学習、大分市歴史資料館による企画展示や講座などを通して歴史や文化を学ぶ機会を創出する。本市における文化財の保存や活用に取り組んでいる団体の多様な活動の継続と活性化のために、情報提供や人材育成、ガイドの育成などを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統芸能の伝承者の功績を讃え、伝承者を育成し、地域の活性化に資することを目的として令和元年度に伝統芸能伝承師制度を設けた。
 これまでに3団体(5名)を認定しており、令和4年度はさらに2団体(6名)が認定される見込みである。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝統芸能伝承師は、制度の趣旨を各団体に十分周知し、積極的に認定者増加を進たい。

状況を示す写真や資料等

▼フロー

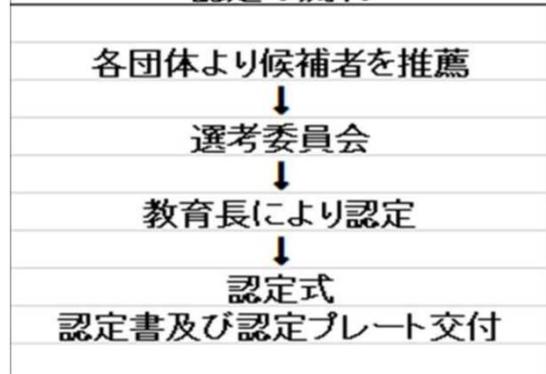
大分市伝統芸能伝承師認定制度

大分市指定無形民俗文化財に指定された伝統芸能の継承活動に従事し、高度の伝統的技術・技法を保持する指導者を伝統芸能伝承師に認定し、その功績を讃えるとともに伝統芸能の伝承者を育成し、もって地域の活性化に資することを目的とする。
 (大分市伝統芸能伝承師認定要綱第1条)

▼認定プレート



認定の流れ



評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
大分市 国史跡指定20周年シンポ	令和4年4月20日	大分合同新聞	
FUNAI文化財整備基金「大友氏館や府内城」再興へ	令和4年5月7日	毎日新聞	
大分市教委が「文化財登録制度」	令和4年5月12日	大分合同新聞	
登録有形文化財 アートプラザ指定へ	令和4年7月23日	大分合同新聞	
浜の市3年ぶり「お下り」	令和4年9月16日	大分合同新聞	
甲冑身に着け気分は武将 大分市で宗麟公まつり・遺跡フェスタ	令和4年10月30日	大分合同新聞	
大分市の子ども歴史ガイド、5期生10人を認定	令和5年2月7日	大分合同新聞	
大分市で大友氏の行事にちなんだ「大おもて会」	令和5年2月9日	大分合同新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大友氏遺跡関連の記事:4件 柞原八幡宮関連の記事:1件 その他、文化財保護の取り組み関連の記事:3件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
著作権関係により新聞記事の掲載はなし			

評価軸①-1
その他(効果等)

項目	評価対象年度	令和4年度
----	--------	-------

歴史的風致の情報発信と観光への活用に関する方針

計画に記載している内容
歴史的風致を将来にわたって継承するには現在ある位置やその価値について市民や来訪者の認識を向上させる必要がある。そのため、歴史的風致に関するマップの作成、まち歩き又はサイクリングロードの設定、ガイドの育成、ホームページやSNSなどを通じた情報発信などにより市民や来訪者の歴史的風致への認識の向上や周遊の促進を図り、観光面にも積極的に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- インスタグラムに記事を投稿
(九州管内の歴まち認定都市が情報発信できるよう、九地整が令和3年11月にインスタグラムのアカウントを開設)
令和3年度:5本
令和4年度:4本(令和5年2月末時点)
- 歴史まちづくりカード配布状況
令和3年度:1253枚【柞原八幡宮(初版)(第2版)、大友氏館跡庭園】
令和4年度:2205枚【柞原八幡宮(第2版)、大友氏館跡庭園】

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

▼柞原八幡宮(第2版)



▼配布状況(柞原八幡宮 第2版)

	枚数確認日	合計配布数	残数
令和3年度	2022.1.8 配布開始日	0枚	3000枚
	2022.2.3	約400枚	約2600枚
	2022.3.1	575枚	2425枚
	2022.5.16	1050枚	1950枚
令和4年度	2022.10.13	約1900枚	約1100枚
	2022.12末	約2500枚	約500枚
	2022.1.9	3000枚	0枚

▼大友氏館跡庭園



▼インスタグラム記事



▼配布状況(大友氏館跡庭園)

	枚数確認日	配布数	残数
令和3年度	2022.1.8 配布開始日	0枚	3000枚
	2022.1.31	56枚	2944枚
	2022.2.28	64枚	2936枚
	2022.3.31	93枚	2907枚
令和4年度	2022.4.30	105枚	2895枚
	2022.5.31	118枚	2882枚
	2022.6.30	126枚	2874枚
	2022.7.31	139枚	2861枚
	2022.8.31	173枚	2827枚
	2022.9.30	184枚	2816枚
	2022.10.31	198枚	2802枚
	2022.11.30	213枚	2787枚
	2022.12.31	223枚	2777枚
	2023.1.31	243枚	2757枚
2023.2.28	255枚	2745枚	

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和4年度 大分市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和5年3月上旬(書面開催)	
(コメントの概要)	
<p>①計画通りに進捗している項目が多く、おおむね順調といえる。 計画通りでない項目については精査の上、事業の遂行に努めてほしい。</p> <p>②着々と景観を大切にしながら年計画の整備が実施されていることを目の当たりにし、うれしく思う。 鉄道残存敷のA、B地区の姿の変化には目を見張る。 コロナの影響でイベント関係が思うように進んでいなかったと時期もあるので、来年度に期待したい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>進捗が遅れがみられる事業について、主な理由としては新型コロナウイルスの影響である。 感染状況等も落ち着きが見られるため、来年度は状況に合わせて適切にイベント等の事業を進めていく。</p>	